

150年の歴史編さん

深志高同窓会 周年記念事業 27年刊行へ準備

来年7月に創立150周年を迎える松本深志高校(松本市蟻ヶ崎3)の同窓会は、記念事業の一環で「長野県松本中学校・長野県松本深志高等学校百五十年史」の編さんに取り組んでいる。創立90周年史の刊行以来の一大事業で、同校の歴史に関する資料の提供などと呼びかけている。

(浜秋彦)

資料提供も呼びかけ

百五十年史はA4 年までの概略と、それ判、600ページを予定。2以降、現在までの通史。部構成で、1部は「松中 同窓会の歩みなど」・深志の150年の歩みとし、創立から90周年 位置付ける「テーマで

見つめた深志の歴史」とし、テーマは「自然と学び」「理想と祈りと」「学び舎と『ひと』と」「学年とホームルーム」などにした。

来年までを執筆と編集期間に充て、2027年に校正と印刷をし、刊行にこぎ着けたいとしている。

同校の卒業生や勤務経験のある元教員30人が編集委員となり、23年8月に第1回編集会議を開催。以降、月1回のペースで会議を開いている。

また、百五十年史をより充実した内容にするため▽松中新聞・深志高校新聞・深志高校定制新聞▽明治期の交友(9、10号)▽昭和時代のPTA関係資料▽各部の部誌や記念誌、OB・OG会の現状—などの情報提供を呼びかけている。

「九十年史」が高い評価を得、創立100周年では「読み物的」という「深志百年」を刊行。それから50年が経過し、「ここで記録を残さないと大きな空白が生まれる」という声が同窓会内で上がり、編さんすることになった。



2日に開かれた会議で話し合う編集委員

事業」から。

情報提供などは公式ホームページ「松本深志高校150周年記念